

# 100<sup>th</sup> Anniversary CITIZEN

シチズングループの企業理念

## 市民に愛され市民に貢献する

シチズンの掲げる企業理念「市民に愛され市民に貢献する」とは、「市民に愛され親しまれるものづくり」を通じて世界の人々の暮らしに広く貢献することです。

シチズングループは2018年、創業100周年を迎えました。この100年、私たちは「CITIZEN=市民」の一員として市民の皆さまの暮らしに貢献していきたい。そんな想いを胸に、時を刻んできました。

そして次の1年、10年、100年へと。すべての1分、1秒を大切にしながら、世界中の皆さまとともに歩み続けてまいります。

私たちシチズンは、これからも真摯なものづくりで進化に挑戦し続けます。「市民に愛され市民に貢献する」企業として、社会とともに時を重ね、皆さまの生活に価値をご提案していきます。

BASELWORLD 2018

## 2018 CITIZEN GROUP CSR REPORT contents

- 01 企業理念
- 02 目次・編集方針
- 03 トップメッセージ
- 05 **特集** 創業100周年記念
  - 05 社会とシチズンの100年
  - 07 創業100周年記念プロジェクト
- 09 シチズングループの中期経営計画と事業活動
- 11 シチズングループのCSR活動
- 14 ステークホルダーとマテリアリティ
- 15 マテリアリティへの取り組み
  - 15 コーポレート・ガバナンスの強化・リスクマネジメントの徹底・コンプライアンスの徹底
  - 17 働きやすい職場環境づくり
  - 18 責任ある調達の推進
  - 19 環境イノベーションの促進
  - 20 社会貢献活動の促進
- 21 コミットメントと社会からの主な評価・企業概要



表紙: 第一号製品の16型懐中時計“CITIZEN”

シチズン時計の前身である尚工舎時計研究所が創立されたのは1918(大正7)年、第一次世界大戦の終わった年で、当時、わが国の携帯時計の主流は輸入の懐中時計でした。創業者山崎龜吉は国産化への強い意志で創立6年半後の1924(大正13)年、独自設計による第一号の懐中時計を完成させました。山崎は親交のあった東京市長の後藤新平氏にこの時計の命名を依頼。後藤氏は「永く広く市民に愛されるように」との思いから、市民を意味する“CITIZEN(シチズン)”と名づけました。この名は後の社名の由来となります。

### 本ダイジェスト版概要

シチズングループは、すべてのステークホルダーの皆さまにCSRの取り組みをご理解いただくことを目指し、CSRに関する活動状況をご報告します。本ダイジェスト版では、創業100周年特集記事、シチズングループのマテリアリティの選定経過、および各マテリアリティへの取り組み状況をご報告しています。

### 編集方針

「シチズングループのCSR WEBサイト」では、本ダイジェスト版の内容も含め、事例紹介や環境・社会面のデータを含めたより詳細なCSR活動の取り組みを開示しています。  
 報告対象期間: 2017年度(2017年4月1日～2018年3月31日)  
 本ダイジェスト版発行時期: 2018年6月  
 経済データ報告対象組織: 国内20社、海外77社(計97社)  
 環境データ報告対象組織: 国内20社、海外15社(計35社)  
 免責事項: 本報告書には将来予測も記載しています。これらは記載した時点で入手できた情報に基づいたものであり、実際の活動結果が予測と異なる可能性もあります。  
 参考としたガイドライン: 「GRIサステナビリティ・レポートング・スタンダード」  
 外部保証: 開示情報の網羅性が不十分なために見送っています。



### WEBサイト(詳細版)

WEBサイトでは、より詳細なCSR活動の取り組みを開示しています。  
<http://www.citizen.co.jp/social/index.html>



### 冊子(ダイジェスト版)

マテリアリティへの取り組み状況を中心に、シチズングループのCSRを分かりやすくお伝えしています。

